



# 天文台だより

銀河の森天文台  
2014 冬号  
Vol. 62

## 衝撃! 11/29、アイソン彗星崩壊!?

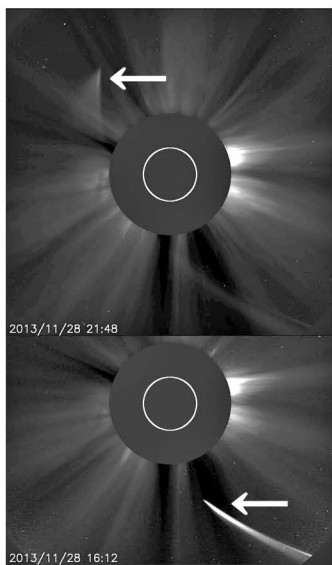
2013年11月29日早朝、近日点を通過した直後のアイソン彗星(C/2012 S1)を捉えようと日の出から観測準備をしていたところ、明るくなると予想されていたアイソン彗星が確認できませんでした。その後、NASAより、「アイソン彗星(核)が崩壊し、蒸発したようだ」と



11月14日に撮影したアイソン彗星

発表があり、SOHO衛星(太陽観測衛星:中央の白丸が太陽)によるアイソン彗星の画像(右の画像)が公開されました。画像(下)が太陽に近づく前で、画像(上)が近日点通過後のアイソン彗星です。核が暗くなり、尾も短くなっているのがわかります。左の画像は、11月14日未明に銀河の森天文台で撮影したアイソン彗星です。この時点では順調に増光し、尾も良く伸びていました。

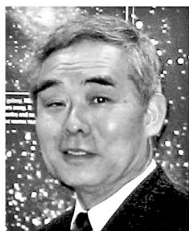
アイソン彗星は世紀の大彗星になると予想されていただけに、大変残念な出来事でしたが、彗星の崩壊という珍しい現象に立ち会えたのは貴重な体験でした。



アイソン彗星の核が崩壊!?  
© SOHO (ESA & NASA)

### 「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

11月から12月にかけて、続々と観望会が開催されました。もう二度と会えないアイソン彗星が目玉でしたが、例年この季節の流星や惑星もありました。残念ながら、アイソン彗星は太陽に近づいて崩壊・消滅してしまいました。



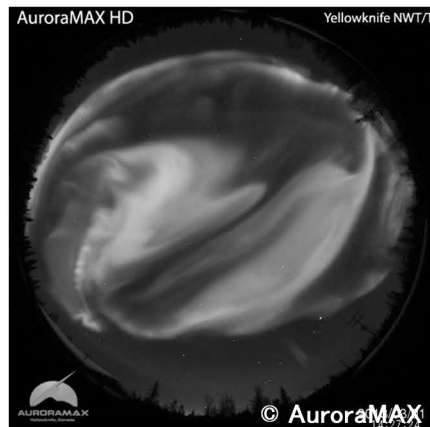
(上出洋介館長)

人が星を見て感動するのはなぜでしょう。理由の一つは、宇宙に自分のような生命がいるはずだと想像するからではないでしょうか。アストロバイオロジーという学問分野が台頭しています。太陽系外に惑星らしき星がすでに4000個も見つかっています。最初の主系列星の系外惑星が発見されたのが1995年ですから、すごい勢いの増え方ですね。これらのうちいくつかの星に人間のような生命体が住みついているのかと、想像はますますふくらみます。

では、生命とふつうの「もの」はどこが違うのか。私は、進化するのが生命だと思っています。天の川銀河だけでも、1万個の星に知的生命体がいるとさえ言われています。当館の大型望遠鏡を覗く皆さんも、その先に自分の仲間を捜しているのでしょうか。

## 「オーロラウィーク2014」 オーロラ生中継開催!

2014年1月30日(木)~2月9日(日)の期間、カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。「オーロラウィーク2014」では、現地で撮影されているオーロラの全天画像をリアルタイムで受け、天文台のプラネタリウムドームに投影します。



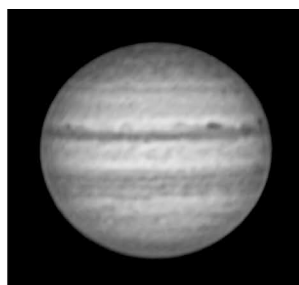
イエローナイフとの時差は、-16時間で、ちょうど天文台開館時間帯が現地の夜になります。上の画像は、イエローナイフから配信されたオーロラ画像です。現地が晴れていれば、高確率でオーロラが出現しています。ドーム内では、過去の素晴らしいオーロラのダイジェスト映像も紹介しますので、ぜひご来館下さい。

## 暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:54	16:03	29.1	6:07	16:03
1月 15日	6:51	16:18	13.7	15:36	5:46
2月 1日	6:38	16:40	1.2	7:00	18:32
2月 15日	6:20	16:58	15.2	17:19	6:04
3月 1日	5:59	17:17	29.2	5:29	17:18
3月 15日	5:35	17:34	13.8	16:09	4:34

## 冬は木星が見頃です!



木星は冬の間ふたご座の中で明るく輝いています。目でも簡単に探せますが、望遠鏡で見ると、しま模様やガリレオ衛星が並んでいる様子を観察できます。

デジカメや携帯カメラでも撮影することができますので、ぜひチャレンジして下さい。

# 天文行事&暦

## 1月

- 12/30-1/7 天文台休館日  
 1 ●新月  
 4 しぶんぎ座流星群が極大  
 (AM4時 最大50個/時)  
 5 小寒(24節気:太陽黄経285°)  
 6 木星が衝(-2.7等, 視直径47")  
 16 ○満月  
 20 大寒(24節気:太陽黄経300°)  
 30-2/9 オーロラウィーク2014  
 31 ●新月  
 水星が東方最大離角  
 (光度:-0.6等, 離角:18° 22')

## 2月

- 1/30-2/9 オーロラウィーク2014  
 4 立春(24節気:太陽黄経315°)  
 15 ○満月  
 金星が最大光度(-4.6等)  
 19 雨水(24節気:太陽黄経330°)



## 3月

- 1 ●新月  
 6 啓蟄(24節気:太陽黄経345°)  
 5-16 木星観望会  
 14 水星が西方最大離角  
 (光度:0.2等, 離角:27° 33')  
 17 ○満月  
 21 春分(24節気:太陽黄経0°)  
 23 金星が西方最大離角  
 (光度:-4.4等, 離角:46° 33')  
 31 ●新月

## 冬のイベント情報!!

### ☆ オーロラウィーク2014

#### 「カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継」

昨年大好評だったカナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。リアルタイムでドームに投影されるオーロラの様子をお楽しみ下さい。

開催日時: 1月30日(木)~2月9日(日)

中継: 午後2時~8時まで(投影時間:1回15分程度)

※ 現地の天候や観測状況により中継時間が変わることがあります。

協力: The AuroraMAX Observatory at Yellowknife, NWT, Canada is operated by The University of Calgary, The Canadian Space Agency, and Astronomy North.

### ☆ 木星観望会

ふたご座で衝を迎え、見頃になった木星の観望会を開催します。木星のしま模様は木星の雲の様子で、時間によっては「大赤斑」も見ることができます。じっくり観察してみてください。

開催日時: 3月5日(水)~3月16日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

## 2014年太陽系天体みどころカレンダー

○: 満月 ●: 新月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月	○16 ●1,31	○15	○17 ●1,31	○15 ●29	○15 ●29	○13 ●27	○12 ●27	○11 ●25	○9 ●24	○8 ●24	○7 ●22	○6 ●22
火星												
水星												
木星												
金星												
土星												
日	★晴れた日は毎日、太陽望遠鏡によって太陽の様子を見ることができます。											

太陽系天体のうち、天文台開館時間中に肉眼で見られる天体の見頃の時期を一週間のカレンダーのようにまとめました。黒線の期間内が見頃の時期になります。今年は約2年ぶりに火星が見頃を迎え、10月8日には皆既月食が見られます。今年も空を眺めましょう☆天文台でお待ちしています!

### 「発見! 銀河の森」 - 幻月(げんげつ) -

9月19日、中秋の名月の晩、お客さんに双眼鏡で月を案内していると、月の両側にぼんやりと明るい光が見えました。これは「幻月」と呼ばれるもので、上空の氷晶に月の光が屈折して、月の両側に光が現れる珍しい現象です。以前にも見たことがあり、すぐに消えてしまうことを知っていたため、すぐさまカメラを取りにいき撮影しました。光はうっすらと虹色に輝き、なんとも不思議な光景でした。中秋の名月という特別な日に起きた、幻月という珍しい現象



だけに、その時たまたま居合わせたお客さんは名月と共に珍しい現象も見ることができ、とても喜んでいました。(寛)

### 天文台からのお知らせ

☆ 12月30日(月)~1月7日(火)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: [ginga@rikubetsu.jp](mailto:ginga@rikubetsu.jp)